



発行所

一般社団法人 兵庫県農業会議
神戸市中央区下山手通4丁目15-3
兵庫県農業共済会館内

主な内容

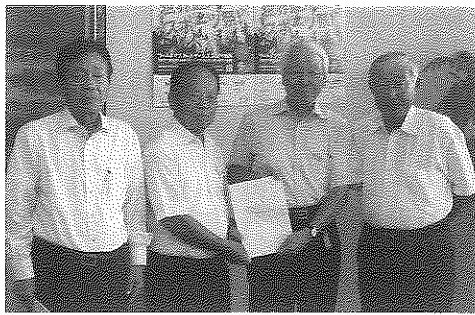
- ◆女性委員交流研修会開催 …… 二
- ◆農年加入推進特別研修会開催 …… 二
- ◆朝来市の未来の農業を考える講演会開催 朝来市 …… 三
- ◆農地パトロール出発式 加西市 …… 四

「県農業・農村施策に関する意見」 県知事に実現を要請

県農業会議

県農業会議は8月27日、藤本和弘会長と西浦道雄副会長、廣納正副会長が井戸敏三県知事と面談し、「平成31年度兵庫県農業・農村施策に関する意見（地域に根ざした農地・担い手対策と地域創生の積極的な展開を）」を提出して、その実現を要請した。

し、国の種子法廃止後すぐに県が種子条例を制定し、優良な種子の安定供給が継続されたことや後継者育成事業の積極展開による農家子弟への支援などについてお礼を述べた。続いて、県農業の将来を見据えたスマート農業の早期普及



藤本会長（左から2人目）と西浦副会長（右）、廣納副会長（左）が井戸県知事に「意見」提出

平成31年度農林水産 予算概算要求

2兆7269億円

農林水産省は8月31日、平成31年度農林水産予算概算要求を取りまとめた。

担い手への農地集積・集約化や強い農業の基盤づくりなどを重点に、30年度当初予算額に比べ4248億円増の2兆7269億円を要求。農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化の加速化192億円のうち、農地利用

及推進、農地中間管理事業にかかる市町段階での推進体制の確立、農業委員会の事務局の確立強化への支援等を依頼。新規就農への支援や農産物直売所の売上アップによる農村活性化、鳥獣被害対策などにも話が及んだ。

藤本会長らは同日、荒木一聡県副知事、松本隆弘県議会議長、小西隆紀県議会議長にも面会し、同意見書を提出した。

最適化交付金に72億円（同7億円減）、農業委員会の活動による農地利用最適化の推進には、53億円（30年同額）を要求した。

主な事業と要求額は次のとおり。

担い手への農地集積・集約化等による構造改革の推進

- ①農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化の加速化（192億円）

農地中間管理機構の事業運営、地域等に対する協力金の交

- ②強い農業・担い手づくり総合支援交付金（275億円・新規）
- ③産地偽装取締強化等対策（3億円）
- ④家畜衛生等総合対策（53億円）
- ⑤スマート農業加速化実証プロジェクト（50億円・新規）
- ⑥農林水産物の輸出力強化と農林水産物・食品の高付加価値化
 - ①海外需要創出等支援と輸出環境整備（58億円）
 - ②自ら輸出環境整備に取り組む事業者の支援等
 - ③食の安全・消費者の信頼確保
 - ①消費・安全対策交付金（22億円）
 - ②家畜衛生等総合対策（53億円）
 - ③産地偽装取締強化等対策（3億円）
 - ④農山漁村の活性化
 - ①多面的機能支払交付金（490億円）
 - ②中山間地域等直接支払交付金（266億円）
 - ③環境保全型農業直接支払交付金（27億円）
 - ④鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進（124億円）

農年加入推進特別研修会開催

J A兵庫中央会・県農業会議

県農業会議は神戸市で8月9日、農業者年金基金とJ A兵庫中央会との共催で農業者年金加入推進特別研修会を開いた。農業委員・農地利用最適化推進委員や農業委員会・J Aの職員ら約60人が出席した。

研修会は、社会保険労務士の藤本紀美香氏が「公的年金制度の概要と「農業者年金」について」と題して講演。公

的年金全般の制度説明のほか、各種公的年金と農業者年金を比較して、農業者年金は安全性を確保しつつ高い利率を維持していることを説明した。

農業者年金基金の樋口直樹理事は、農業者の中でも特に、女性の老後生活に農業者年金が必要だと話し、若い農業者への加入推進とともに、女性への積極的な推進活動と呼び

かけた。

事例発表では、三木市で稲作や軟弱野菜の生産などをしてきた藪西史丈さんが、農業者年金に加入した経緯やメリットに感じたことなどを発表した。藪西さんは「この年金は農業者にとっても有利な制度。私も制度の説明を聞くまで詳しいことは知らなかったもので、多くの農業者に知ってもらえたら」と話した。

就農希望者向け

セミナー・相談会開催

県農業会議は8月19日、県やJ A兵庫中央会、兵庫みどり公社と共催で、就農希望者向けセミナー・相談会を神戸市の神戸国際会館で開いた。

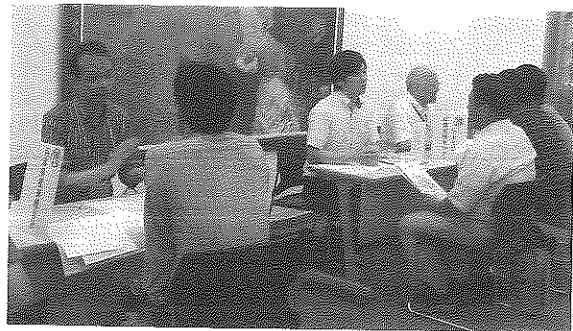
新規就農した先輩農業者2人の体験発表のほか、ひょうご就農支援センターの就農ガイダンスを実施。農業法人や市町、県立農業大学校、兵庫楽農生活センターなど28の組織・団体が就農相談ブースを出展し、125人の相談者が訪れた。

セミナー・相談会は毎年、夏と冬の2回開催し、今回で20回目になる。過去2年では、平成29年冬117人、平成29

全国農業新聞・8月増部

全国農業新聞の普及について、8月に増部したのは6市町。(内は増加部数)

- ①川西市(11)、②六栗市(2)、③伊丹市・加東市・豊岡市・南あわじ市(各1)



多くの就農希望者が相談に訪れた

30年産水稻生育状況

兵庫は「平年並み」

8月15日現在

近畿農政局は8月31日、同月15日現在の兵庫県の水稻生育状況を発表した。

6月の日照時間が平年を下回る時期があったものの、おむね高温・多照であったことから、草丈は「やや短い」、茎数は「平年並み」となり、生育は「平年並み」とした。地帯別では、県内全域で生育と茎数は「平年並み」、草丈は県南・県北で「やや短い」、淡路は「平年並み」としている。

農業者年金7月新規加入実績

兵庫県の農業者年金7月新規加入実績は次のとおり。

(農業者年金基金7月受付処理分)

養父市 1人

女性委員交流研修会開催

女性委員ネットと県農業会議

ひょうご農業委員会女性ネットワーク(篠山市・大西富美子会長)と県農業会議は8月28日、神戸市で農業委員会女性委員交流研修会を開き、女性農業委員と推進委員ら32人が参加した。

県農業会議から農業委員会を巡る情勢について報告したほか、京都府立大学生命環境科講師の中村貴子氏が「女性が農村で輝くために!今、女性の農業委員・農地利用最適

化推進委員に求められている役割」と題し、講演した。

中村氏は、女性農業就業者割合と耕地面積(本地)の推移をグラフに表し、女性農業者の減少が少ないときには耕地の減少も少ないことから、「女性が農業に関わらなければ土地が荒れていくことを示唆している」と話した。また、「女性は目の前にある課題を解決するパワーが強く、地域を巻き込んだ活性化に繋がる。女性活躍が後押しされる今がチャンスであり、女性委員を多く登用することが必要な時代だ」と述べた。

朝来市の未来の農業を 考える講演会開催

朝来市農業委員会

朝来市農業委員会（米田利秋会長）は8月9日、同市和田山町の和田山ジュピターホールで「朝来市の未来の農業を考える講演会」を開いた。

高齢化や後継者不足が深刻化する中、地域農業を守るため、人・農地プランの作成や農地中間管理事業の活用、集落営農法人との連携などについて学ぶことがねらい。

農業委員や農地利用最適化推進委員、市内各地区の農事部長を通じて広く参加を呼びかけ、市のケーブルテレビでも放送した結果、市内外の農業者ら約180人が参加し、中には農業高校生など若者の姿もあった。

県農政環境部農業経営課の近藤謙介課長が「力強い兵庫農業の実現に向けて」と題し、県内の農業情勢や新規就農者の動向、担い手への農地集積など、統計を用いて講演。近藤課長は「集落営農の法人化が雇用の創出や後継者の確保

など、地域を支える方策のひとつになる」と、県内の集落営農法人の事例なども交えて説明した。

続いて、朝来市内で茶葉や岩津ネギ、黒大豆を生産する、農地利用最適化推進委員で認定農業者の池本晃市氏（40）が取り組み事例を発表。農地の利用調整や地域での食育活動をする中で、苦労したこと、やりがいに感じたことなどを話した。

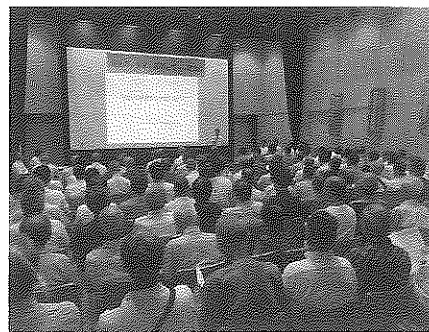
女性農業士

新たに10人を認定

兵庫県

県は8月21日、神戸市の県公館で女性農業士の認定式を開き、女性農業士10人を新たに認定。女性農業士の人数は74人になった。

県女性農業士は、農漁業の振興と農漁村における青少



熱心に講義に聴き入る参加者ら

年の育成に指導的役割を果たす、地域の女性リーダーを県知事が認定するもの。

主な任務は、地域における魅力ある農漁業経営及び農山漁村生活の確立や生活研究グループ、加工グループの育成など。県への政策提案や研修生の受け入れ、食育活動などに取り組む。

新規認定者の氏名、住所地、主な経営作目は次のとおり。

（敬称略）

- 片山美奈子（神戸市・施設野菜、露地野菜、水稲）▽正井久美（神戸市・酪農）▽山口恵子（稲美町・施設花き）▽小井佳代（姫路市・水稲、施設野菜）▽東川民子（上郡町・水稲、大豆、施設野菜）▽小河薫（たつの市・露地野菜、水稲）

集落営農法人化セミナー 県下の集落営農のリーダーら 150人が参加

県農業会議は8月8日、姫路市で集落営農法人化セミナーを開き、集落営農組織のリーダーら約150人と、市町などの関係者約70人が出席した。

農業従事者の高齢化と後継者不足が進む中、地域内外から多様な人材を確保し、農業経営の継続や生産技術の継承を図る方策のひとつとして、集落営農組織の法人化を進めていくことがねらい。

セミナーでは、県立農林水産技術総合センターの木村亨専門技術員が「法人化の意義、法人化後の経営について」と題し、人材確保や施策上のメリットなどについて説明。県内の集落営農法人の取り組み

- 例）▽平峰英子（豊岡市・水稲、露地野菜、施設花き）▽山本浩子（丹波市・果樹、水稲、繁殖和牛）▽木村葉子（三田市・果樹、繁殖和牛）▽村上早苗（南あわじ市・露地野菜、水稲）

事例を紹介した。

また、昨年法人化した、稲美町の農事組合法人フアーム稲加見谷（いなかけんだに）営農の小山和彦代表理事組合長が取り組み事例を発表。東播磨地域の集落営農組織では初の花き生産への挑戦や、ヘアリーベッチを使った酒米の生産、地元醸造会社と連携したオリジナルの日本酒の開発について話した。

全国農業図書新刊紹介

【平成30年度版 農家相談の手引】（30・16）、A4版120頁、820円

【平成30年度版 よくわかる農家の青色申告】（30・14）、A4版135頁、800円

【2018年度版 地域農業の担い手「認定農業者」】（30・17）、A4版6頁、75円

10、11月は「農業者年金」加入推進強調月間
農業者の老後生活を安心して
きるものに！農業者年金に
ぜひ加入しましょう！

農地パトロール出発式 農地利用の最適化に向けた第一歩

加西市農業委員会

加西市農業委員会（吉田一男会長）は8月24日、新体制移行後、初となる農地パトロールの出発式を開いた。

出発式は、農業委員9人、農地利用最適化推進委員14人、市農政課、事務局職員が市役所正面玄関に参集。パトロールに向けて士気の高揚を図った。

吉田会長は、「農地パトロールは、農地法第30条において、農業委員会が毎年1回、農地の利用状況について調査を行わなければならないと定められており、農地利用の最適化の推進に向けての第一歩だ。暑い時期だが、頑張っていたいただきたい」と話した。

県農業会議農地委員会結果

県農業会議は8月5日、第29回農地委員会を神戸市の県農業共済会館で開いた。

一 議 事

(1) 農地の転用のための許可について

農地法第4条に関する朝来市の転用事案について審議し、回答を保留し、現地調査を実施することとした。

(2) 農地等の転用のための権利移動の許可について

農地法第5条に関する転用事案6件について審議し、三田市と加古川市、多可町、丹波市の案件については現地調

査のため回答を保留し、豊岡市と養父市の案件は許可相当とし、農業委員会会長あて回答することに決定した。

二 協 議

(1) 当面の農政問題について

農業委員会組織による「平成30年7月豪雨災害義援金」の募集、都市農地の貸借の円滑化に関する法律の施行規則案の概要、米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針等について、事務局が説明した。



農地パトロールは、9月20日から6日間、9班編制で14

農地パトロール出発式

9月から始まるパトロールに向けて士気を高めた

(別表) 第29回農地委員会・農地法第4条・第5条関係処理状況

区 分	農 地 区 分 別 処 理 件 数						処 理 面 積 (m ²)
	農 振 農 用 地	甲 種	第1種	第2種	第3種	合 計	
第4条	0	0	0	1	0	1	3,071
第5条	0	0	2	4	0	6	57,944

地区を巡回し、農地利用状況の確認や無断転用の早期発見、遊休農地所有者への指導などを実施する。

農業会議日誌

8月1日～8月31日

1日 加古川市 農業委員会年次総会出席（加古川市）
 ▼農業委員・農地利用最適化推進委員 研修会開催（西脇市）

6日 農林政策 審議会出席（神戸市）
 ▼地域農業リーダー育成事業審議会出席（同市）
 ▼都市農地担当者会議出席（同市）

7日 第29回農地委員会開催（神戸市）

8日 集落営農法人化セミナー開催（姫路市）

9日 農業者年金加入推進特別研修会開催（神戸市）
 ▼第5回ひょうごMBA塾開催（同市）

17日 農地現地調査（三田市・丹波市）

20日 農の雇用事業説明会開催（神戸市）
 ▼雇用就農独立支援事業親方農家研修会開催（同市）
 ▼農業委員・農地利用最適化推進委員研修会開催（川西市）

21日 第6回ひょうごMBA

A塾開催（神戸市）
 22日 第2回規制改革会議出席（神戸市）
 ▼農地現地調査（朝来市・加古川市）
 ▼農地研修会出席（東京都）

23日 農業経営者のための就業規則作成セミナー開催（神戸市）
 ▼農地現地調査（多可町）
 ▼県・兵庫みどり公社・農業会議連携会議出席（神戸市）

24日 県稲作経営者会議役員会出席（神戸市）

27日 県幹部及び県議会への県農業・農村施策に関する意見の提出（神戸市）

28日 農業次世代人材投資資金審査会出席（神戸市）
 ▼女性委員交流研修会開催（同市）

29日 生産緑地法等説明会出席（京都府）

30日 農地利用の最適化の取組に関する会議出席（神戸市）

31日 農業委員・農地利用最適化推進委員研修会開催（篠山市）

